

スーパー耐久シリーズ 2025 第 1 戦もてぎスーパー耐久 95 号車「SPOON リジカラ CIVIC」、初戦はトラブルで 6 位



3 月 22 日(土)~23 日(日)にモビリティリゾートもてぎ(栃木県芳賀郡 4.801km)でENEOS スーパー耐久シリーズ 2025 Empowered by BRIDGESTONE 第 1 戦「もてぎスーパー耐久 4 Hours Race」が開催され、95 号車「SPOON リジカラ CIVIC」(山田英二/小出峻/西村和真)は、予選 ST-2 クラス 5 位から決勝をスタート。すぐにクラス 2 位へとポジションアップするも、1 回目のピットイン時にクラッチトラブルが発生、これの修理に約 30 分を要したため、初戦はクラス 6 位でチェッカーとなりました。

開幕戦は 22 日にレース 1 として 5 クラス 40 台の予選と決勝が行われ、23 日にレース 2 として ST-2 クラスを含む 7 クラス 40 台の予選と決勝が行われました。レースウィークの 17 日(木)は寒冷前線の影響から気温が低下、サーキットには雪もちらつく天候でしたが、週末にかけて天候は回復、22 日、23 日はともに好天に恵まれ 23 日のレース 2 決勝スタート時は気温 24.2 度と汗ばむほどとなりました。

8 時 30 分に開始された予選では 95 号車は決勝に向けたセットアップに時間を費やし、A ドライバー山田と B ドライバー小出のタイム合算によりクラス 6 番手のスターティンググリッドを獲得しました。決勝は予定通り 12 時 30 分にスタートが切られ、スタートドライバーを務めた小出は抜群のスタートダッシュを決め、1 周目で 3 台を抜いてクラス 2 位に浮上。その順位を守ったまま 27 周目にピットインし、山田に交代しました。がしかし、ここでクラッチトラブルが発生。その修理に約 30 分を費やしてピットアウトするものの、大きく後退してしまいます。その後は順調にラップを重ね、57 周目に 2 回目のルーティンピットで西村に交代、89 周目に最終スティント担当の小出に再び交代。果敢な走りを見せるものの、追撃には及ばず、総合 31 位、クラス 6 位でレースを終えました。

ファーストドライバーを務めた小出峻は、「チームとしては、(僕に)スタートで抜いてきてほしいという感じだったと思うので、スタート後は良い感じで数台抜いて 2 番手に上がれました。でも、トップとの差はつかず離れずという感じでした。クルマのペース的にはそんなに悪いわけではなく、展開次第では優勝も狙えるパフォーマンスはあったと思います。トラブルさえなければ優勝は見えるところなので、細かいところを強くして、次は優勝狙いたいです」と語っています。B ドライバーの山田英二は、「今回のレースはちょっともったいないなっていう感じでしたね。スタートで小出が前に出て、僕と西村がバトンを繋いで最後にまた小出に代わるという流れでね。彼(小出)は、やっぱり絶対的なパフォーマンスを持っているので、トラブルがなければトップで終わられたんじゃないかな。また、この経験を無駄にせず次に繋げましょう。なんとか頑張りたいと思います」。今シーズンから新たにチームに合流した西村和真は、「久しぶり(3 年ぶり)のツーリングカーレースだったので、正直なところ不安な部分もあったんですけど。もちろん小出君、山田さんや原さん、甲斐さん、皆さんに色々な形で支えていただきました。僕自身、レースウィークには体と感覚を慣らすため、いろんなことを試しました。決勝レースは、なんとかうまくまとめられたかと思います。クルマのパフォーマンス的には、チームは皆で良いクルマを作るって

いう方向性を共有しており、ぶれることなくどんどん良いクルマになっていると思います。鈴鹿は ST-2 がスキップなので、次戦はいきなりタフな富士ですが、がんばります」、とそれぞれ語っています。

チーム監督の原剛は、「今回のトラブルはクラッチユニットのトラブルではなく、純正部品のクラッチのマスターシリンダーが原因でした。レース中は気温も上がったので熱害の可能性があります。小出君のステイントで、3 台でずっと縦一列で走っていたので、それもあるのかな。このもてぎに対しては、ブレーキが一番心配だったのですが、本当に新開発のブレーキがうまく作用して、そこはトラブルなしで走れたっていうのは、収穫でした。小出君は、やはり波に乗れている男だけに良いスタートを決めてくれましたね。その後クラッチが切れないトラブルが発生してしまいましたが、我々がそれに耐えられるクルマにしないとどうにもなりません。富士は、昨年色々トラブルに見舞われましたが、今回はそれらに悩まないようしっかり準備していきたいです」と次戦に向けた抱負を語りました。

第 2 戦の鈴鹿は ST-2 クラスがお休みのため、「SPOON リジカラ CIVIC」の次の舞台は第 3 戦富士 24 時間となります。